

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

① 「クアンビン省統合的クラスター弾等除去計画」

1. 案件概要

クアンビン省クアンニン郡及びボーチャック郡において、不発弾・地雷の除去を行うことにより、不発弾により汚染された土地(約 2.45 平方キロメートル)を経済的・社会的に利用可能な土地に転換させ、もって同地域住民に対する生命の脅威の軽減及び同地域の経済社会開発に寄与する。

2. 対象地域と現状

(1) クアンビン省

(2) ベトナムでは、ベトナム戦争終結以降、40 年間で不発弾により 4.2 万人以上が命を落とし、約 6.2 万人が負傷しており、依然として国土の約 17%に不発弾や地雷などの爆発物が残存するとみられている。2014 年、同国は政府内に、不発弾・地雷問題を主管する「ベトナム爆弾地雷除去作業センター (VNMAC)」を立ち上げる等して取り組んでいるが、未だ大量に残留する不発弾等を同国政府のみで除去するのは不可能であり、国際的な協力を呼びかけている。クアンビン省は、同国におけるクラスター弾による汚染が最も深刻な地域の一つとされ、VNMAC の報告書 (2018 年) によれば、同省の約 27% (約 2,205 km²) に依然として爆発物が残存するとされている。同省では不発弾の未処理により、現在でも多くの土地が未開発のままであり、基礎インフラ整備や農地開発を阻害している。被供与団体は、1999 年にベトナムでの活動を開始して以来、同国全土で約 37 万発の不発弾を除去し、213 平方キロメートルの土地を開放する成果を上げている (2023 年 4 月時点)。同団体は米國務省からの支援により、省内他地域でも活動しているが、同省の汚染地域は広大であり、かつ、国際 NGO である被供与団体は、国内法令上ベトナム政府からの資金援助を得ることができないため、不発弾・地雷除去活動を継続するための資金が不足している。



検知器で地中に埋まる不発弾を探索する作業員。

3. 供与金額 503,597 米ドル (69,999,983 円) 米ドル

4. 実施団体 マインズ・アドバイザーズ・グループ・ベトナム

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

② 「ゲアン省チュソン村チュソン第二幼稚園園舎建設計画」

1. 案件概要

ゲアン省ドルオン郡チュソン村のチュソン第二幼稚園に、新園舎1棟（3教室、390㎡、トイレ3室、教員室3室、倉庫3室、コンクリート造）を整備することにより、地方農村部における初等教育環境の改善を図り、もって同地域の児童の教育の質の向上に寄与する。

2. 対象地域と現状

(1) ゲアン省ドルオン郡チュソン村

(2) チュソン第二幼稚園は4棟（6教室、寝室1室、事務所1室、倉庫2室、台所1室）を備え、218人の園児が通園し、教員10人が勤務している。うち1棟の園舎（3教室）は竣工から25年以上が経過し、度重なる修繕を経てもなお老朽化が著しい。特に外壁や屋根は崩れかけており、応急処置でしのいでいる状況である。大雨や強風の日には教室内に雨風が吹き込み、安全を確保できないため使用できず、園児が安全な環境で学習する機会が奪われている。また、教育訓練省の旧基準で建設された教室は狭く、現在の基準（1教室当たり35名、各教室にトイレ、倉庫、教員室を備える等、計130㎡）を満たしていない。さらに、教室不足から、同地の法令により義務教育の対象となる5歳児を含め、近隣である同幼稚園へ通うことができない園児が約140人おり、園児にとって通園の負担が大きい遠方（村内の地区によっては最長で5kmの距離）のチュソン第一幼稚園への通園を指定される状況が生じている。各教室にトイレ、倉庫及び教員室を備えた新園舎建設により、同園に通園する園児が安全な環境で学習可能になるとともに、現在、事務所及び倉庫として使用している棟の一部を教室に変更することで、新たに約140人まで受け入れが可能になる。



現用の園舎

3. 供与金額 131,989 米ドル (18,346,471 円)

4. 実施団体 ゲアン省越日友好協会